

報 告 書

開 催 日 時	令和3年11月12日(金) 19時00分 ~ 20時35分		
自治協議会名	上野南部地区住民自治協議会	開 催 場 所	上野南部地区市民センター
出 席 議 員	赤堀 久実、中岡 久徳、増田 雄、北森 徹、濱瀬 達雄、森中 秀哲(班外)		
	班 長	赤堀 久実	記録・報告者 増田 雄
参 加 人 数	12 名		

【主な意見・提言等】

<市道南平野木興線の拡幅延長の推進について>

- ・上野鉄砲町・上野万町は、狭い道ばかりなので、消防車・救急車が入れない。
- ・上野愛宕町から木興町のうち、上野愛宕町から上野万町の間だけでも早く進めてほしい。
- ・伊賀市都市計画道路南平野木興線建設促進期成同盟会を立ち上げて取り組んでいる。
- ・市道から県道へ昇格して事業を実施できないのか。
- ・都市計画決定の元々は物流等の話だろうが、今は、危機管理の観点で必要であるという気持ちを受け取ってほしい。
- ・都市計画決定から離れて、暫定拡幅はできないのか。
- ・危機管理が一番大事。数年前の上野鉄砲町の火災では、バケツリレーを必要とした。
- ・上野南部地区住民自治協議会ではパトロール車で巡回しているが、狭い道へは入れない。
- ・市から、伊賀白鳳高等学校から大関食堂の間の拡幅が出来たらこちらをやると聞いていた。
- ・該当する用地はほとんど空き家になっているので、用地買収はそれほど難しくないと考える。
- ・国道368号を北へ延ばして国道に変え、国の事業でやってもらうしか予算的に無理だと考える。

<地区市民センターの指定管理・地域包括交付金について>

- ・近年、地域包括交付金を段階的に減らされたため、事業の見直しをせざるを得なくなった。
- ・上野南部地区住民自治協議会としても、指定管理について2年程前から協議・検討はしており、指定管理を受けることをまったく考えていないということではない。
- ・指定管理で最初は人件費などを市がみても、自治協の仕事をしたら、更新時に減らされるのではないのか。
- ・指定管理は災害時など荷が重すぎる。法人格を有しない自治協で出来るのか。
- ・施設の老朽化にともなう事故があった場合、その責任はどこが負うのか。
- ・自治協への関わりは2、3年であり、あらゆることを会長が担うことになる。
- ・校区が西小学校・東小学校・崇広中学校・緑ヶ丘中学校にまたがり、色々な考え方があがるが、地域のつながりが無いわけではない。

伊賀市議会議長 様

令和3年11月12日

上記のとおり、地域意見交換会の概要について報告いたします。

令和3年度地域意見交換会 7 班

班長 赤堀 久実